

国際シンポジウム

3月16日、17日

第5回国際学生フォーラム

国際シンポジウム (2016.3.16~3.17)

プログラム

3月16日(水)

- 10:00~10:10 はじめに (細谷 葵)
- 10:10~10:30 「自然災害からの復興」 by クリスティーナ・メトリチコヴァー (チェコ・カレル大学)
- 10:30~10:40 質疑応答
- 10:40~11:00 「タイの災害経験と災害対応のアイデア」 by カンプアン・ナッタコン (タイ・チェンマイ大学)
- 11:00~11:10 質疑応答
- 11:10~11:30 「大連での津波に備えて一大連大学生連合の立ち上げ」
by 張 玲玲・劉 曉穎 (中国・大連理工大学)
- 11:30~11:40 質疑応答
- 11:40~12:00 「大学生である私たちができることは？」
by キム・ファジン ユン・ジソン (韓国・釜山外国語大学)
- 12:00~12:10 質疑応答
- 12:10~13:10 昼休み
- 13:10~13:30 「大学内外での取り組みーアメリカ大学生の災害援助努力」
by 秦 寧 アンソニー・チャン (アメリカ・ヴァッサー大学)
- 13:30~13:40 質疑応答
- 13:40~14:00 「Red Tide」 by アメル・ナルン (お茶の水女子大学)
- 14:00~14:10 質疑応答
- 14:10~14:30 「Support for devastated children
~regarding the Great East Japan Earthquake~」
by 橋本 里奈 (お茶の水女子大学)
- 14:30~14:40 質疑応答
- 14:40~15:00 「What Important Thing for Help」 by 高橋 絢美 (お茶の水女子大学)
- 15:00~15:10 質疑応答
- 15:10~15:50 ディスカッション
- 15:50~16:00 講評 (チェンマイ大学・西田 昌之先生)

第5回国際学生フォーラム
国際シンポジウム (2016.3.16~3.17)

プログラム

3月17日 (木)

- | | |
|-------------|--|
| 10:30~10:40 | はじめに (細谷 葵) |
| 10:40~11:00 | 「Students' Energy」 by 坂口 佳帆・勝本 葉子 (お茶の水女子大学) |
| 11:00~11:10 | 質疑応答 |
| 11:10~11:30 | 「How to Connect with Local People」 by 佐々木 美理
(お茶の水女子大学) |
| 11:30~11:40 | 質疑応答 |
| 11:40~12:00 | 「What We Can Do for Local Recovery from 3.11」
by 小口 藍子 (お茶の水女子大学) |
| 12:00~12:10 | 質疑応答 |
| 12:10~13:10 | 昼休み |
| 13:10~13:40 | グループ・ディスカッション |
| 13:40~14:10 | クラス・ディスカッション |
| 14:10~15:30 | ふりかえりタイム (感想レポート執筆) |

【国際シンポジウム概要】

3月16日（水） 司会：坂口佳帆・橋本里奈 PC 担当：勝本葉子
3月17日（木） 司会：小口藍子・高橋絢美 PC 担当：佐々木美理

国際学生フォーラムの中核をなす活動として、海外学生 5 組、お茶の水女子大学生 6 組の計 11 組が、2 日間にわたり「地球環境と災害へのグローバルな挑戦」をテーマに口頭発表を行った。

題材は震災・津波だけではなく、赤潮や暴風など多岐に渡り、復興支援や防災活動のアイデアも、防災サイクリングクラブを作る、フェスティバルを開催する、大学生連合を立ち上げる、SNS を利用した学生の国際ネットワークを作る、家庭教師として被災地児童の教育援助をする、などなど、バラエティに富んだものが提示された。

初日の質疑応答やディスカッションでは、グローバル文化学環報告会でもたびたびとりあげられていた「迷惑なボランティア／支援」の問題、また、風評被害の原因ともなるメディアの偏った報道などの話題が主に取り上げられた。支援やボランティアは、やればいい、行けばいいというものではないという提議が、特に福島県や宮城県出身の参加学生から、「現場の声」としてなされた。ボランティア活動は簡単なものではなく、本気で相手の地域と向き合う心構えがないかぎり、成功するものではないことを皆が認識した。またメディア問題に関しては、飛び入りご参加いただいた佐々木泰子先生（お茶の水女子大学）から、日本に来る留学生の面倒をみるお仕事をしている経験に基づき、東日本大震災の時には、日本中が被災しているような誤解を招く報道が海外でなされたために、ほとんど被害のない土地にいて、本人も帰国したくないにも関わらず、国からの命令で無理に帰国させられた留学生が多かったという貴重な情報が提供された。多国籍の参加者から成る本フォーラムでは特に、そうした国境を超えての報道のあり方の問題は、格好の議論対象となった。

初日の最後には西田昌之先生（チェンマイ大学）から講評をいただいた。西田先生は、全員の発表に共通するテーマは①日常性の中にどのように防災のレッスンを入れていくのか、②国際的な連携をどう進めていくのか、の2点だったと分析されたうえで、まず①については、日常性と結びつくことで災害の記憶が風化してしまう危険もあるが、人類学者アンソニー・オリヴァー＝スミス言葉にある通り、現代社会では、災害の危険を日常生活に折り込み済みでいなければ生きていけない事実もあり、自分たちの生活リスクを考えていくことは肝要である。またあくまでそれは、防災サイクリングクラブのように、気張らず楽しいものでなくては長続きしないという意見を述べられた。②については、人は本来、よそ者の侵入を嫌がるものであり、外国人であればなおさら、復興支援などに入っていくのは困難を極めると思う。しかし大事なのは人と人が会うことで何かを変えられることであり、人類学者としてのご経験から言っても、嫌がられてもとにかく相手に寄り添い、自分ができることを探し続ける以外に道はないと述べられた。そして、国際連携とは皆が異なる経験、スキルを持ち寄れる利点があり、それを大いに生かすべきだとされた。

2日目のディスカッションは、なるべく国籍の違う者同士で3人程度のグループを複数作り、グループ・ディスカッションを行った。ディスカッション後、各グループのリーダーが、話し合った内容をクラスに向けて発表した。議論の声の止まない、大変活発なディスカッションとなった。

各グループが議論した内容は次の通り。

◆ 高橋絢美+アメル・ナルン+張玲玲

ボランティア活動と、活動資金の入手方法などについて議論した。ボランティアには、災害予防、災害後の地域での自立支援など、異なる内容があり、それに応じた心構えをもち行動しなくてはならない。

◆ 橋本里奈+劉曉穎+秦寧

適切な国際的復興支援について議論した。政府や報道の偏った情報提供が、国際連携を妨げる悪因だが、それには下記のような理由が考えられる。

- ① 言語的な制約
- ② 中国のように、Facebook や Google が使えず、情報源が偏ってしまう国もある
- ③ 情報の受け手（我々）が受動的すぎる
- ④ 現場の生の声を聞く機会がほとんどない

その解決策は、復興支援の性質によって考え分ける必要がある。災害直後の支援はより物質的な支援が主となり、姉妹都市などのルートを通して支援ができる。災害後、時間を経た長期的支援では、記憶を風化させない定期的な振り返りの機会作りとして、イベントやフェスティバルを行うのが効果的だと考える。被災地で行われるイベントをテレビ中継し、参加者のインタビュー等を行えば、現場の生の声を聞く手段にもなる。常に現状を他者に報告する視点を持ち、同じ活動を長く継続できることが大事である。

◆ 坂口佳帆+ユン・ジソン+アンソニー・チャン

学生ができる活動として SNS を使ったアイデアが発表でよく出されたが、年配の方など SNS を利用しない人々に情報を伝えるのにはどうすべきか（シンポジウムに参加された原由紀恵先生の提言を受けて）について議論した。SNS を使用しない人は、世論やマスメディアしか情報源がなく、それらを信じがちだが、個人が発信する情報の方が正しい場合もある。自分たちは、SNS で得た情報を、人々との会話を通して地道に広げていく努力をすべきだと考えた。また、アメリカや韓国では、学生が一定時間ボランティア活動をしなくてはならないという制度があり、制度なので良い成績や就職の手段としてボランティア活動が使われてしまう傾向もあるが、少なくともボランティア活動に触れるチャンスは、そのような精度のない日本より多くあること、また、被災者の PTSD 問題については、大々的な支援が必要であることなどを話し合った。

◆ 勝本葉子+クリスティーナ・メトリコヴァー+キム・ファジン

大学生ができることは意外にたくさんあるという認識のもとに、具体的にどんなことができるかを話し合った。ボランティア活動も、助けたい気持ちだけでいきなり行ってもうまくいかないの、地元と提携している団体に入るなど、地元ときちんとコミュニケーションをとれるような手段を考えるべきである。

また、東日本大震災の頃はどうしていたかという話し合いもした。キムさんは韓国で、もう日本の未来はなくなったかと感じていた。メトリコヴァーさんは、自分の国チェコの状況もかんがみながら、原発事故に非常に興味を持っていた。

◆ 小口藍子+カンブアン・ナッタゴン+佐々木美理

「情報」の問題について議論した。新聞やラジオの情報も誤っている可能性はあるが、個人が発信する SNS もまた、個人の偏った見方に基づく誤りがあるかもしれない。したがって、なるべくたくさんの情報源に当たることが大事である。ただし、PC 等を購入できない人たちにとっては、情報を得るのは大変難しい可能性がある。

災害前の警報などの伝達手段は一般に発達しているが、災害後の情報フローの手段はほとんどなく、SNS に頼るしかない状況になっている。そのため、年配の方等が取り残されやすい。小口さんの実体験だが、東日本大震災の時は郷里の茨城にいて、やはり停電がおきてテレビで情報を得ることもできなかったが、町中に広報用のスピーカーがあり、飲み水の配布場所等、そのスピーカーで周知されたので助かった。スピーカーのようなものを町に設置しておくのも有効な手ではないかと考えた。





自然災害と復興

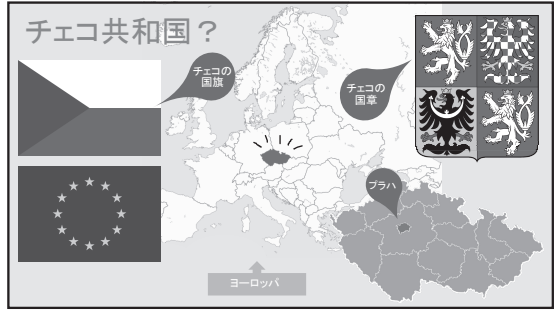
メトリコヴァー・クリスティーナ
Kristýna Metličková



カレル大学
1347年カレル四世により創立



チェコ共和国？



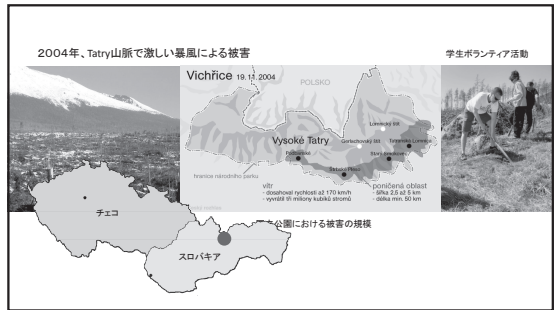
チェコの国旗
チェコの国章
プラハ
ヨーロッパ

チェコ共和国における災害



2004年、Tatry山脈で激しい暴風による被害

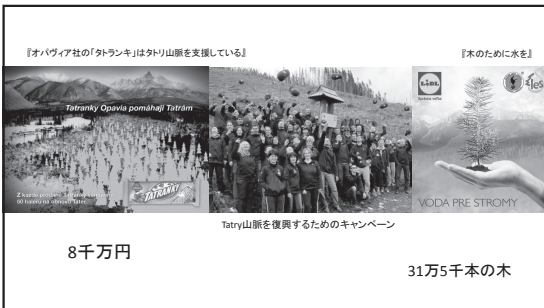
学生ボランティア活動



Vichřice 19.11.2004
Vysoké Tatry
vůl - odhadovaná rychlost 120 km/h
výhled 01 mstořny 4,6 km
poškozená oblast - délka 2,5 až 3 km
šířka min. 50 km
公園における被害の規模

『オハバヴィア社の「タトランキ」はタトリ山脈を支援している』

『木のために水を』



Tatranky Opavka pomáhají Tatráni
Tatry山脈を復興するためのキャンペーン
8千万円
31万5千本の木

ボランティア活動

災害後の片付け・被害を受けた家の修理など...



チャリティー団体による支援



困っている人



カリタス・チェコ



赤十字



Adventist Development and Relief Agency

ΠΡΟΒΛΗΤΗΡΙΑ ΠΡΟΜΟΤΕΡ



SKAUT団体の洪水支援というプロジェクト



UNICEF基金のボランティア



2010年、マイアミ、Michael専門高校の学生展覧会 (Prah for Haitiというプロジェクトの一部)



災害のシミュレーション

天気予報



Ostravaのスーパーパソコン

需要と供給を管理するソフトウェア



Ostrava国立大学

傷ついた心を癒すために...



保養済在中チェルブイリの2013年5月福島県浪江町の避難所での保養済在




ご清聴ありがとうございました。

タイ南部のアンドマン海に面する地域の大地震 (2004年12月26日)

災害の防災対策・行政のモデル

様々な機関が別々に活動を實行することの非効率性が、大きな課題になりました。そこで、次の災害対応のモデルとして、総合的な対応が計画されました。

避難訓練、津波警報システム開発、必要な検閲設置、などの防災対策が行われました。



遠征検閲
Photo by <http://www.manager.co.th>



ボランティア活動
Photo by <http://www.tsunami-volunteer.net>



津波警報システム
Photo by <http://dpm.mida.ac.th>




Chiang Mai University
Thailand

タイ南部のアンドマン海に面する地域の大地震 (2004年12月26日)


忘れられない一大事

大勢のタイ人・外国人被害者の中に、タイの王族の方もいらっしゃいました。


毎年、12月26日は津波記念日となっており、被災地で記念式を行っています。それぞれの自治体が災害についての海防、避難訓練などを実施します。政府により、12月26日は「国の災害防災の日」と決められました。



ファンジエンセンとボランティア王女
Photo by topicstock.pantip.com



ドニー島の津波記念日
Photo by th.pattaya.dailynews.com



Chiang Mai University
Thailand

タイ洪水 (2011年7月31日 - 2012年1月16日)




Photo by <http://photoblog.nbcnews.com>

死者:813人
被害総額:700億バーツ

参考: <http://thepublic.ca> (2011年12月4日)

長く苦しい生活

ボランティア意識
水管理の見直し



Chiang Mai University
Thailand

タイ洪水 (2011年7月31日 - 2012年1月16日)

長く苦しい生活

被災者は長期で浸水した家屋に暮らすことが強いられました。伝染病が発生する可能性もありました。

水害は長期的な影響があるので、被災者を救済するために定期的に寄付してもらふ必要がありました。また、救済物資の適切な管理も必要でした。



浸水家屋の生活
Photo by news.tichai.com



たくさんの救済物資
Photo by news.tichai.com



自分で組み合わせたトイレ
Photo by www.green4thip.com




Chiang Mai University
Thailand

タイ洪水 (2011年7月31日 - 2012年1月16日)


ボランティア意識

ソーシャル ネットワークのおかげで優しい人たちが集まって、グループを組織し、被災者を救済しました。


有名人もよいモデルとなるように色々な救済方法を実施しました。(一方、アレジに出る良い機会だから、やるのであって偽善的だと批判もされました)




救済物資をまじりに遊んでいるボランティア
Photo by www6.sat.or.th



有名人たちが救済物資を包んでいる様子
Photo by blog.edubase.com



被災者に応援している女優
Photo by news.sanook.com



Chiang Mai University
Thailand

タイ洪水 (2011年7月31日 - 2012年1月16日)

水管理の見直し

どこか排水路に排水するか、どうすれば効率的に排水できるかという適切な水管理について議論しています。

グリーンダム議論計画では、賛成派と反対派が対立しています。賛成派は浸水被害を受けた人々であり、反対派は自然保護の学者たちです。



排水路を建設するにはたくさんの予算が必要
Photo by www.dam.go.th




グリーンダム計画
Photo by <http://www.manager.co.th>

このダムの計画地帯には希少動物であるトラが生息します。
Photo by www.puchatit.org



Chiang Mai University
Thailand

タイ北部チェンライ県での地震 (2014年5月5日)




神様の警告
建物の建て方の見直し
震災の防災対応

Photo by www.chiangraitimes.com

死者:2人 負傷者:23人
全壊家屋:104軒 一部破壊家屋:8000軒

参考: <http://www.dailynews.co.th>



Chiang Mai University Thailand

タイ北部チェンライ県での地震 (2014年5月5日)

チェンライ
チェンマイ
バンコク

神様の警告

タイではここ100年で一番ひどい地震被害だと言われていますが、日本の神戸やナバールの地震ほどには激しくありませんでした。

タイでも有感地震はすでに何回も起こっていますが、今回の大きな地震の被害から、タイにとっても地震被害は身近なことであることには気づかされました。




被害を受けたお寺
Photo by pizapost.pozjung.com



Chiang Mai University Thailand



タイ北部チェンライ県での地震 (2014年5月5日)

地震に対する抵抗があると書いてあります。


建物の建て方の見直し

エンジニアがすぐに被災地の被害を受けた建築物の査定に行き、住めるかどうか確認しました。住めない場合は住民を他の所に避難させました。

タイ北部の人たちは地震に対する抵抗のある建築物を、意図的に建てるようになりました。建て売り住宅会社も丈夫な材料で建てた住宅であることを紹介するようになりました。

倒れそうな住宅
Photo by www.maijagor.co.th



Chiang Mai University Thailand

タイ北部チェンライ県での地震 (2014年5月5日)

震災の防災対応

地震被害対応アニメーション

避難訓練を多く実施するようになりました




チェンライ県の小学校の避難訓練
Photo by <http://www.marnerukhangrai.net>



Video by Thai PBS Infographic



Chiang Mai University Thailand

お金や物を寄付するのはいまや普通の習慣になっています。



寄付以外の救援方法がありますか。

Chiang Mai University Thailand

ボランティア

どんなボランティア？

Chiang Mai University Thailand

災害が発生した場合

災害は広い地域に影響を与えます。

だから、大勢の人が苦しむこととなります。

でも災害直後は救援がすぐ届かないから、自分・隣の人を先に助けましょう。

また、もし防災対応を学んで、その得た知識を用いる事ができれば、被害は軽減することができます。

そのためにみんな一緒に楽しい活動で
防災対応が学べたらいいんじゃないでしょうか？

防災のために楽しい活動を作ってみましょう。



Chiang Mai
University
Thailand

防災サイクリングクラブ

新提案



Photo by <http://www.thaihealth.or.th>

- ✓ 現在、サイクリングクラブはタイでもとても人気があります。
- ✓ だれでもこのクラブに参加できます。
- ✓ コミュニティ活動になります。
- ✓ 地域の状況を見学することができます。



Chiang Mai
University
Thailand

防災サイクリングクラブの活動



ボーンズカウチ・キャンプのモデルとして行います
Photo by www.bonmouang.co.th

場所: 住んでる村

日時: 日曜日(06:00AM - 12:00PM)

参加者: だれでもいい

**ボランティア1・2人

一回目の活動

06.00 AM - 9.00 AM サイクリングで村を見学します

09.00 AM - 09.30 AM 休憩

09.30 AM - 12.00 AM 応急処置(ボランティア)

二回目の活動

06.00 AM - 9.00 AM サイクリングで村を見学します

09.00 AM - 09.30 AM 休憩

09.30 AM - 12.00 AM 食の結び方のコツ(ボランティア)

*場所・時間 はクラブのみんなが決めます



Chiang Mai
University
Thailand

場所

- 隣の村
- 元被災地
- 広い公園
- 国立公園
- など

活動

- 負傷者の助かし方
- 身近な食べられる物で生活してみます
- 身近なもので採用します
- 日本の防災対応の体験を語ります
- など




Chiang Mai
University
Thailand

ご清聴ありがとうございました



Chiang Mai
University
Thailand




大連での津波に備えて

—大連大学生連合の立ち上げ

劉映穎 張玲玲
大連理工大学

発表の流れ

- 01 身近にある津波
- 02 【シミュレーション】大連での津波発生
- 03 私たちの提案—大連大学生連合



津波

スマトラ島沖地震(2004年12月26日)



死者:226,566人

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%9E%E3%83%88%E3%83%A9%E5%B3%B6%E%96%E5%9C%B0%E9%9C%87.\(2004%E5%B9%B4\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%9E%E3%83%88%E3%83%A9%E5%B3%B6%E%96%E5%9C%B0%E9%9C%87.(2004%E5%B9%B4))

津波

・東日本大震災(2011年3月11日)




死者:15,894人 重軽傷者:6,152人

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%A4%A7%E9%9C%87%E7%81%BD>


災害—大連













中国強震及地震帯分布図



「中国地震帯分布図」
出典 中国科学院データセンター

大連の地震への備え



 应急排水 Emergency Drainage	 应急避难场所 Emergency Evacuation Site
 应急供电 Emergency Power	 应急避难路线 Emergency Evacuation Route
 应急避难 Emergency Shelter	 应急物资供应 Emergency Material Supply
 应急厕所 Emergency Toilet	 应急灭火器 Emergency Fire Extinguisher
 应急医疗救护 Emergency Medical Aid	 应急避难车辆 Emergency Evacuation Vehicle
 应急通信 Emergency Communication	 应急疏散通道 Emergency Evacuation Passage

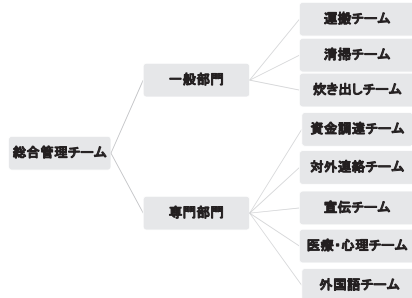
避難標識

<http://dl.sina.com.cn/news/s/2013-07-13/07348979.html>

大連大学生連合

- 目的：大学生の専門知識を生かし、即時的に秩序ある行動を取れる災害援助団体を設ける
- 募集条件：
 - 災害支援に志す大連の大学生
 - 身心健全
 - ボランティアとサークル活動などに経験ある人を優先する
 - 金融・医学・メディア関係・外国語コースの人を優先する
- 募集人数：100人あまり
- 募集時期：毎年の9月

大連大学生連合組織図(仮)



日ごろから、災害支援の能力を育成する

- 政府と連携：
 - 定期的に統一された防災訓練⇒慌てず行動する精神を養う
 - 津波知識と災害支援に関する講義⇒救援能力を高める
 - 経験者と直接意見を交わす⇒支援ニーズを調査する

大連大学生連合のすること

一般チーム：



災害 チーム	Before	After
運搬チーム	専門チームのサポート	物資の運搬
清掃チーム		汚泥やガレキの撤去
炊き出しチーム		炊き出し

大連大学生連合のすること

•専門チーム：資金調達チーム



Before	After
スポンサーと連絡を維持する	募金する
連合の活動経費を調達する	食糧・医療品などの物資を調達する
社会貢献活動を企画する	

大連大学生連合のすること

•専門チーム：対外連絡チーム

Before	After
政府、地域などと連携する	災害支援についての連絡
政府にアドバイスを具申する	復興支援についての連絡



大連大学生連合のすること

・専門チーム: 宣伝チーム



Before	After
ウェブサイトを構築する	ウェブサイトで災害の最新情報をアップデートする
ガイドブックを作成する	
学校や住民団地などでガイドブックを配る	SNSを利用して、被災した家庭との連絡をサポートする
画像や動画で、ガイドブックの内容を理解しやすく説明する	

大連大学生連合のすること

・専門チーム: 医療・心理チーム



Before	After
宣伝チームとの連携で、大連市民に医療知識を啓蒙し普及させる	医療サポートをする
	カウンセリングサポートをする

大連大学生連合のすること

・専門チーム: 外国語チーム



Before	After
ガイドブックを各国語に翻訳する	通訳サポートをする
連合ウェブサイトを各国語に翻訳する	外国人サポートをする

参考資料

- ・1.スマトラ島沖地震
[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%9E%E3%83%88%E3%83%A9%E5%B3%B6%E6%B2%96%E5%9C%B0%E9%9C%87_\(2004%E5%B9%B4\)_2004](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%9E%E3%83%88%E3%83%A9%E5%B3%B6%E6%B2%96%E5%9C%B0%E9%9C%87_(2004%E5%B9%B4)_2004)
- ・2.東日本大震災
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%A4%A7%E9%9C%87%E7%81%BD_2011
- ・3.大連駅
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%80%A3%E5%B8%82#/media/File:Da_Lian_Railway_Station.jpg 2007-9
- ・4.<http://www.chinanews.com/gn/2013/04-23/4756414.shtml> 2013-04-23
- ・5.http://news.xinhuanet.com/2013-04/25/c_124630163.htm 2013-04-25
- ・6.http://img1.laili.com/images/201207/03/1341285628_87705200.jpg
- ・7.<http://bbs.runsky.com/data/attachment/forum/201308/17/052015zkhk5hkkjwfwjhrnj.jpg>
- ・8.http://www.hilizi.com/2013-04/24/content_523719.htm



ご清聴ありがとうございました



第5回 国際学生フォーラム

大学生である私たちが
できることは？

キム・ファジン ユン・ジソン

Index

- 01 自己紹介
- 02 韓国と釜山外大
- 03 韓国で起きている災害
- 04 大学生である私たちができること

01 自己紹介

01 自己紹介

윤 지선
尹智善



- #好きな食べ物はカツ丼
- #趣味は音楽鑑賞と落書
- #大阪でワーホリ経験有
- #将来希望は韓国語教師

01 自己紹介

Hwa-Jin Kim



- #大食い？普通でしょ
- #特技はぼろっとすること
- #ありのままの変顔
- #何歳にみえます？

02 韓国と 釜山外大

02 韓国と釜山外大

KOREA 韩国
 韩国 ประเทศไทย
 どのようなイメージを
 お持ちでしょうか

02 韓国と釜山外大



02 韓国と釜山外大

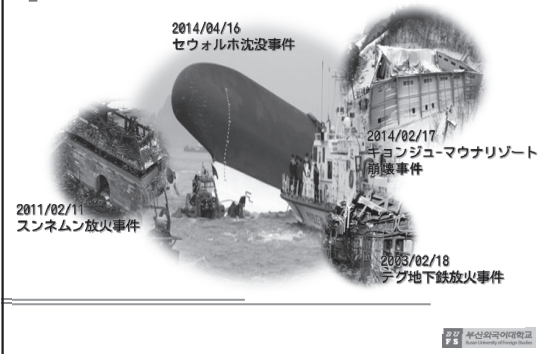
Busan University of Foreign Students

日本語創意融合学部

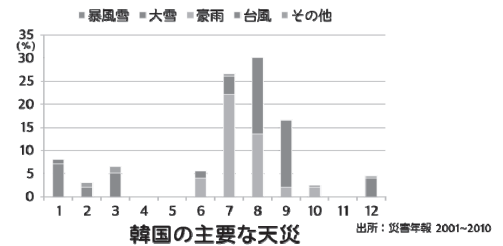


03 韓国で起きている 災害

03 韓国で起きている災害



03 韓国で起きている災害



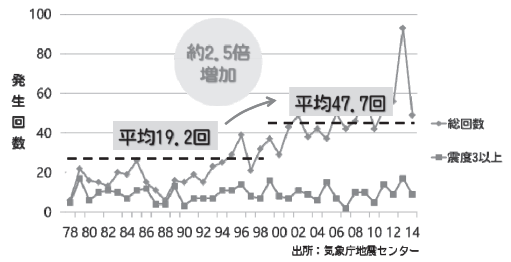
03 韓国で起きている災害

人命				財産			
順位	発生日	台風名	死亡・失踪 (人)	順位	発生日	台風名	被害額 (万円)
1位	1936/06/26-28	3493号	1,232	1位	2002/08/30-09/01	ルーサー	51,479
2位	1923/06/11-14	2353号	1,157	2位	2002/09/12-13	マエミー	42,225
3位	1959/09/15-18	サラ	849	3位	1999/07/23-08/04	オルガ	18,498
4位	1972/08/18-20	ベティ	558	4位	2012/08/25-30	ボラヴェン&テンピン	6,365
5位	1925/07/15-18	2568号	516	5位	1995/08/19-30	ジャニス	4,563
6位	1914/09/11-13	1428号	432	6位	1967/07/15-16	セルマ	3,913
7位	1933/06/03-05	3383号	415	7位	2012/07/15-17	サンバ	3,457
8位	1987/07/15-16	セルマ	345	8位	1998/09/29-10/01	ヤニー	2,749
9位	1934/07/20-24	3486号	265	9位	2000/08/23-09/01	ブラビルーン	2,520
10位	2002/08/30-09/01	ルーサー	246	10位	2004/08/17-19	メーギー	2,588

出所：国家台風センター(National Typhoon Center)

부산외국어대학교

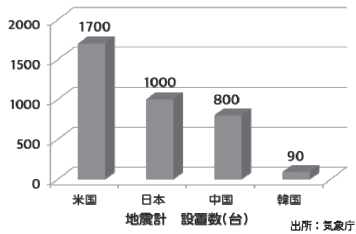
03 韓国で起きている災害



出所：気象庁地震センター

부산외국어대학교

03 韓国で起きている災害

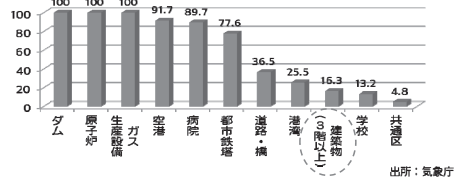


出所：気象庁

부산외국어대학교

03 韓国で起きている災害

韓国 施設物 耐震設計 比率



出所：気象庁

부산외국어대학교

04 大学生である 私たちができること

부산외국어대학교

04 大学生である私たちができること

SNSを通じてコミュニティーを形成



そのブログをつなぐ
ページを作る

부산외국어대학교

04 大学生である私たちができること

普段どのようなコンテンツを共有するか



“定期的な討論会”

スカイプなどを利用して
どのような活動を進めるかを
討論する。

부산외국어대학교
Busan University of Foreign Studies

04 大学生である私たちができること

普段どのようなコンテンツを共有するか



“災害発生 対応方法”

부산외국어대학교
Busan University of Foreign Studies

04 大学生である私たちができること

普段どのようなコンテンツを共有するか



“フラッシュモブ” (Flash mob)

YouTubeを活用した
募金活動を行う。

부산외국어대학교
Busan University of Foreign Studies

04 大学生である私たちができること

普段どのようなコンテンツを共有するか



“私からキャンペーン”

ハンカチ&タンブラー
使用

부산외국어대학교
Busan University of Foreign Studies

04 大学生である私たちができること

災害発生し、大学生としてできること

“リアルタイムで”
状況共有



부산외국어대학교
Busan University of Foreign Studies

04 大学生である私たちができること

災害発生し、大学生としてできること

“復旧作業に支援”



부산외국어대학교
Busan University of Foreign Studies

04 大学生である私たちができること

災害発生し、大学生としてできること


“応援のメッセージ”



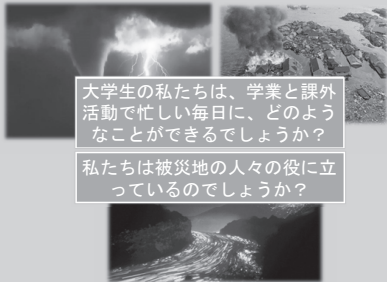
ご清聴ありがとうございました



「大学内外での取り組み：アメリカ大 学生の災害援助努力」



Vassar College (ヴァッサー大学)
 兼享 (テン・ニン)
 Anthony Chan (アンソニー・チャン)



大学生の私たちは、学業と課外活動で忙しい毎日に、どのようなことができるでしょうか？

私たちは被災地の人々の役に立っているのでしょうか？


世界中の
自然災害

- 気象
- 火山噴火
- 地震
- 洪水
- 高潮
- 津波

アメリカの大学生アイデアと経験


On-campus

■ キャンペーンで資金や物資を集める



Off-campus

■ 休みを利用して被災地に行って実際に活動する







ハイチ地震

ハイチ時間の2010年1月12日午後4時53分に、ハイチ共和国でマグニチュード(M)7.0の地震がありました。地震の揺れの大きさとハイチの設備不備さによる社会基盤の脆弱さで、死者が1万4千人に及びました。唯一の地震災害としては、スマトラ島沖地震に匹敵する近年最大の大量犠牲ものとなりました。

「DARTMOUTH HAITI RESPONSE」

アメリカで、1,500,000 百五十万ドルの資金と医療設備を整えました。そして、「Partners in Health」という教団グループに頼んで、ハイチの政府を協力して支援しました。さらに、この資金は医療チームのためにも使われて、十万人以上のハイチの住民を助けました。

2009年に卒業したMolly Bodeさん「最初の二十万ドルは全部Partners in Healthのほうに送り、それ以外、Dartmouthは自分たちの医療チームと援助隊をハイチに派遣しました。そして私たちは教育プロジェクトもあり、ハイチの学生たちをDartmouthで勉強できるようにした」

私たちは大学生として、自分の学校でこのような学生組織を作り、キャンペーンを展開することができると思っています。もちろんすべての学生活動がDartmouth大学のような大成功に終わるわけではありませんが、規模がどんなに小さくても、ある程度の資金を集めることができると思います。そして、Dartmouthの学生の経験から学んで、Partners in Healthのようなほかの大きいグループに頼んだら、いい結果が出るかもしれません。

ALTERNATIVE SPRING BREAK IN US

- 多くのアメリカの大学は、春学期に“SPRING BREAK” — “春休み”という短い休みがあります。ふつうは三月の一週間か二週間ぐらいの休みで、学生たちは家に帰ったり、旅行したり、スポーツチームは集中訓練をしたり、それぞれの計画があります。その中で、一部の学生は“ALTERNATIVE SPRING BREAK”というプログラムに参加します。
- “ALTERNATIVE SPRING BREAK” というのは十人~十二人の大学生ひと組で、ある地域(ちいき)に行き、一週間ぐらいのボランティア活動をする事です。
- 貧困、教育改革、難民移住、環境、心理健康、移民、動物愛護など多種多様な社会問題から一つ選んで活動します。学生たちはプログラムを通じてその問題に対する理解を深めて、その一週間で現地の非営利組織と協力して特定のプロジェクトをします。

Better Yourself, Better the World
ALTERNATIVE SPRING BREAK
AFRICA
Building Community Worldwide

Informational Meeting
Monday, February 16, 8 p.m. RSC 218
Tuesday, February 16, 11:30 a.m. RSC 218
June 13-21, 2016
Applications, cost, and travel information will be discussed.

GLOBAL

近年、「ALTERNATIVE SPRING BREAK」プログラムは震災後の再建を目的にするのが多いです。

大学生たちの感想

- Penn State UniversityのSongerさん：「被災地に行きたいです。子供たちを助けて、彼らの笑顔が見たいです。子供たちに、自分が誰かに愛され、誰かに大切に思われていると気づかせてあげたいです。そして、世の中に無限の可能性があり、何でもできると自信をもたせてあげたいです。」
- EWI's Haley Moraniec：「ハイチが直面している問題を知って、彼らがどんな努力をして家を再建しているのかも知りたいです。私たちはハイチ国中を走り、ハイチの人々がこんなに辛い環境でどうやって生活しているのかが分かりました。私たちの目標はハイチ人の立場で問題を考えられるようになることです。」
- Jessica Huang：「ハイチと言うとすぐに壊滅、あるいは貧乏なイメージを思い浮かべるかもしれませんが、でも私にとって、ハイチは忍耐力を想像させます。ハイチは、喜びの国です。どんな苦難があろうとしても。」

- 以上がアメリカの大学にある被災地援助プログラムです。
- 自分の大学でもいいですし、被災地に行ってもいいですし、大学生の私たちができることはたくさんあると思います。特に休みを利用して、援助がある場所に行ってボランティア活動をするのは、その人を助けることができるだけではなく、私たち自身にもいい勉強になります。



Vassar College Ning Qin '16
All the pictures and data information are extracted from the internet.

災害後の優先

- 人命救助
- 衣食住、医療、交通手段を確保
- 家屋、建物、道路、インフラストラクチャーの再建

フェスティバルの開催

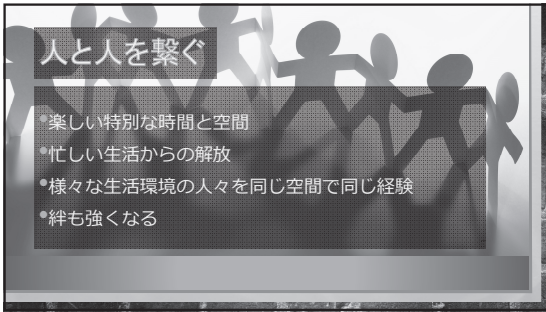
- 人と人を繋ぐ
- 人を元気にする
- 防災、復興のための情報を正しく伝える
- 地方産業や経済を助ける
- 参加者の心にも残る

目的

- 交際を勧奨 ○
- 政治 ×
- 営利 ×

人と人を繋ぐ

- 楽しい特別な時間と空間
- 忙しい生活からの解放
- 様々な生活環境の人々を同じ空間で同じ経験
- 絆も強くなる



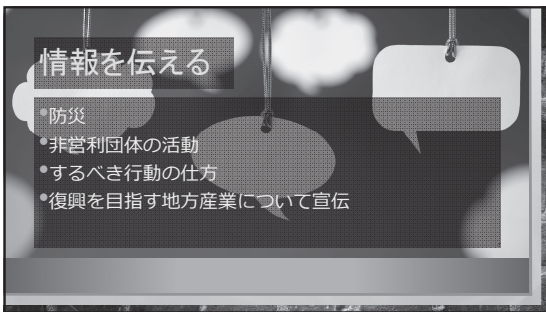
気持ちを表す

- 詩
- 歌
- 芸術など



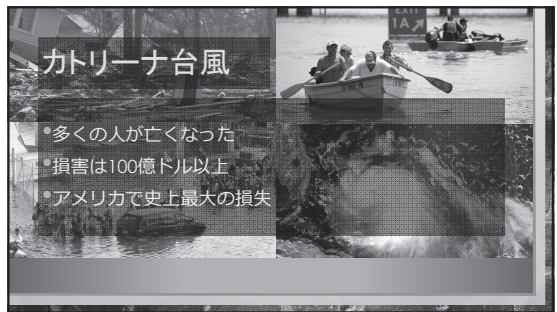
情報を伝える

- 防災
- 非営利団体の活動
- すべき行動の仕方
- 復興を目指す地方産業について宣伝



カトリーナ台風

- 多くの方が亡くなった
- 損害は100億ドル以上
- アメリカで史上最大の損失



記念イベント

- バレード
- 芸術作品の展示
- 演劇など



9/11レジリエンス・フェスティバル

カトリーナ台風を思い出し、被災地の人達の気持ちが一つであることを再確認



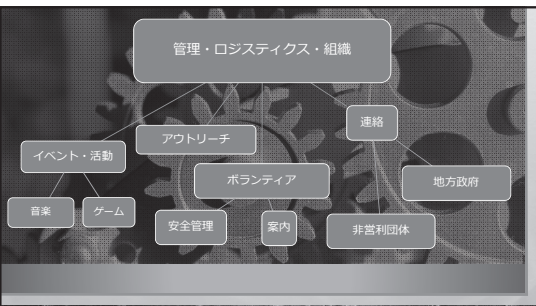
• リル・ウェインの音楽祭：収益を地元のチャリティーに寄付し、カトリナにげったい負けないと誓い合った



どんなフェスティバルを考えてみる

- 大人、子供、家族、誰でも楽しめる
- 音楽、映画、芸術などを通じて人を集める
- 楽しみながら共通の目的を目指す

学生としてできること



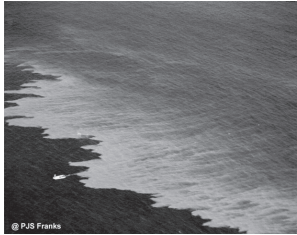
どんな小さなことでも...

- 人を集める
- 人と人を繋ぐ
- 明るく楽しい雰囲気に参加者を元気にする
- 復興の実現、地方産業をささえる方法をみなで考える
- 災害に負けない気持をお互いに確認
- みなで乗り越えていく場

終わり

ご清聴ありがとうございました

Red Tide



© P.J.S Franks

Amel Naroun
Exchange student at Ochanomizu University
March 2016 International Forum

Amel Naroun

1

Plan

- ▶ Water cycle
- ▶ Intensive farming
- ▶ Red tide
- ▶ Conclusion

Amel Naroun

2

Introduction

- ▶ Red tide in Brittany (France)
- ▶ Origin is due to intensive farming
- ▶ Transfer of nitrate into the ocean



Amel Naroun



3

World



Amel Naroun

4

Brittany



Amel Naroun

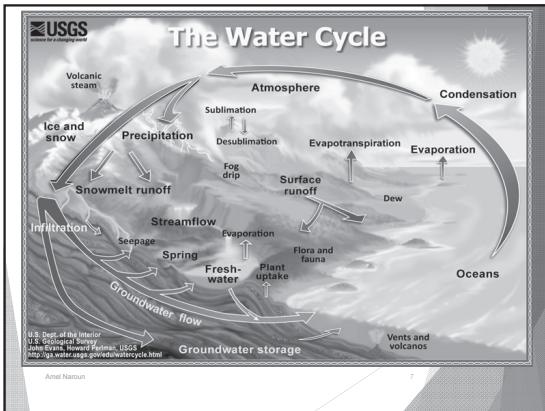
5

Water cycle

- ▶ The water cycle is a global system :
 - Transfert of water
 - Storage of water

Amel Naroun

6



Storage

► The storage is a very important notion:
Time storage of water does have an impact on pollutant's storage

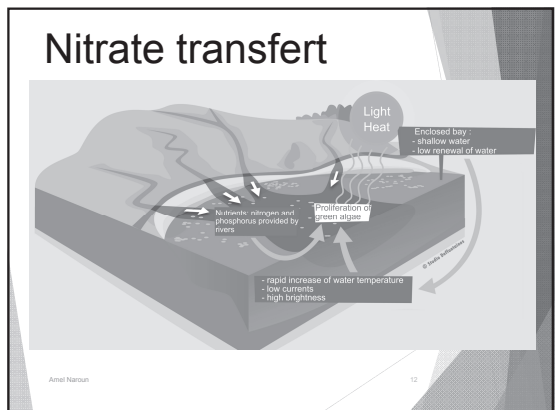
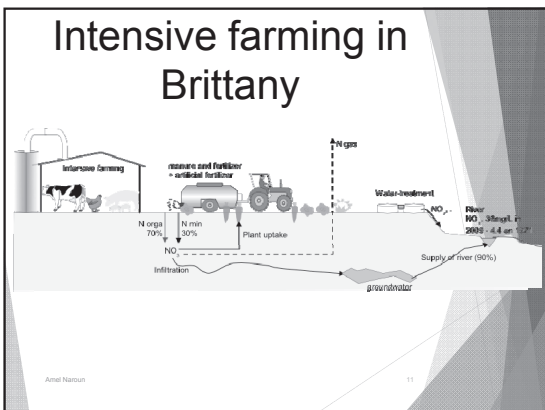
- Ocean : 1000-10 000 years
- Ice : 100-1000 years
- Superficial ground water : 100-1000 years
- Deep ground water : > 10 000 years
- Lake : 10-100 years
- Soil moisture : 0.1-1 year
- Atmosphere : 0.01-0.1 year
- River : 0.01-0.1 year

► The river can rapidly transport pollutants

► Storage in ground water, lake and ocean is for a long period of time

Intensive farming in Brittany

► Intensive farming in Brittany (France), creates a lot of problems



Red tide

- ▶ The consequence of transfer of all nitrate in ocean, who are stocked for many times, is red tide
- ▶ The nitrate helps the development of seaweeds



Annel Naroun

13

Conclusion

- ▶ Red tide is due to intensive farming
- ▶ Proliferation of green algae
- ▶ Decomposition of green algae :
 - ➔ Eutrophication
 - ➔ Hypoxia : depletion of oxygen in the water
 - ➔ Death of aquatic animals

Annel Naroun

14

Thank you for your attention

Annel Naroun

15

Support for devastated children

～regarding the Great East Japan Earthquake～

Rina Hashimoto

The present situation

1537 Children
who lost one parent

241 Children
who lost both parents

67children foster by relatives

A foster parent 168 children

Protective institutions 6 children



What do they need?

Of course, They need **food, clothing and house.**



a place where one can have peace of mind



Warm Home

Most parents also suffered from disaster

Mentally and physically tired

Many of them lost jobs and took employment
where the work place is far away from home

➡ No time to play and talk with their children

Support system for parent and foster parent



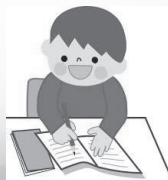
Good education

Unsatisfied environment for studying in temporary housing

Poor academic performance due to excessive stress

➡ Objectify the hard experience

Write a composition
about the memory of disaster



Education Guaranteeing

Scholarships

80% of children who lost their parent by disaster
entered universities.

➡ Double of what it did before

Tutoring volunteers by university students

No Clam school



Out-Of-Home Place

Many children are traumatized such as showing symptoms of PTSD



Support by counselors

Making good communities



Warm Home

Good Education

Peace Of Mind

Education
Guaranteeing

Out-Of-Home Place

What I can do in the future

Not Forgetting the tragedy

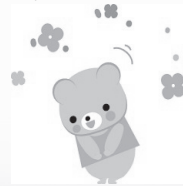
responsibility to correctly pass on the history to the next generation

Support both parents and children as a clinical psychologist.



*The restoration of heart
is endless*

Thank you for listening



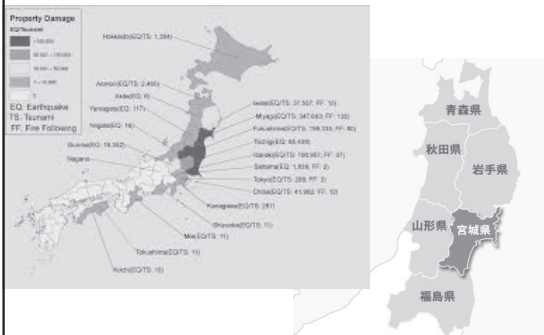
The important thing for help

1530435
Ayami Takahashi

Miyagi (みやぎ)



Disaster map



Actually...



“ I come from Miyagi”

type 1



“ I’m sorry.
You hanged in that!”

“ I come from Miyagi”

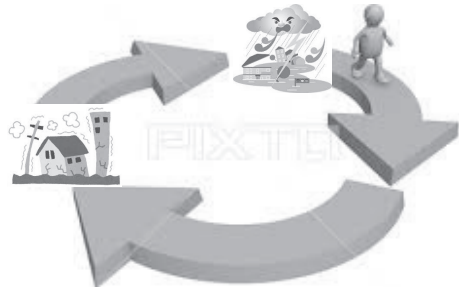
Type 2

I had a plan!
It made my plan wasted!



Remember

What has changed in your life?



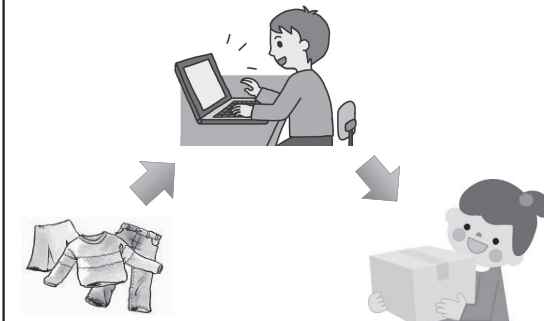
Remember → thinking



Mistaken volunteer



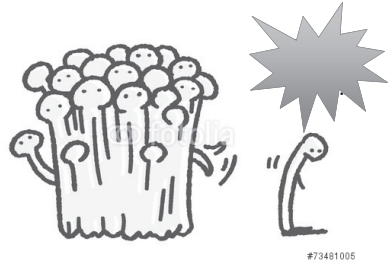
Better volunteer



- Don't forget
- Don't be seen as a "victim"
- Want help
- Not anything is OK

- Thinking someone
- Doing ≠ Helping

“I haven’t been in Miyagi”



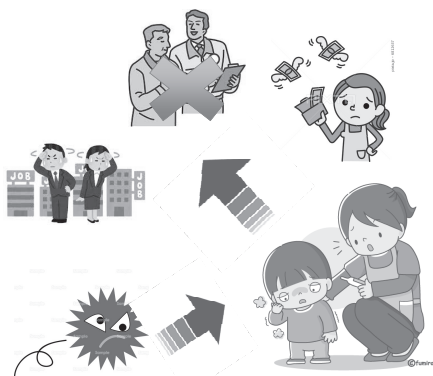
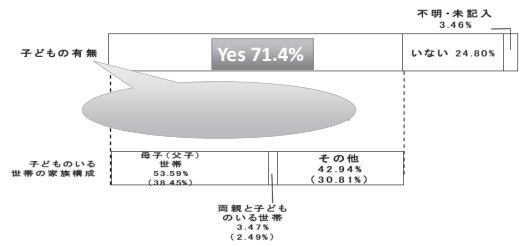
#73481005

Problem of Hukushima (ふくしま)



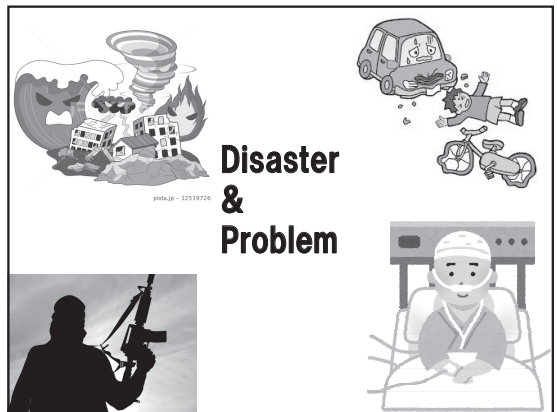
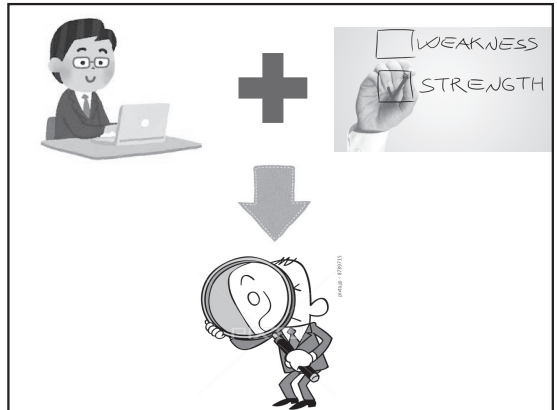
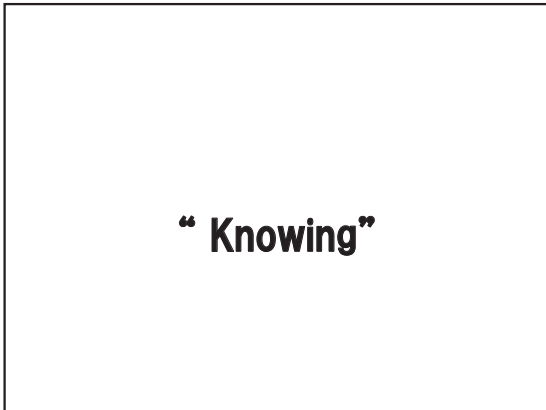
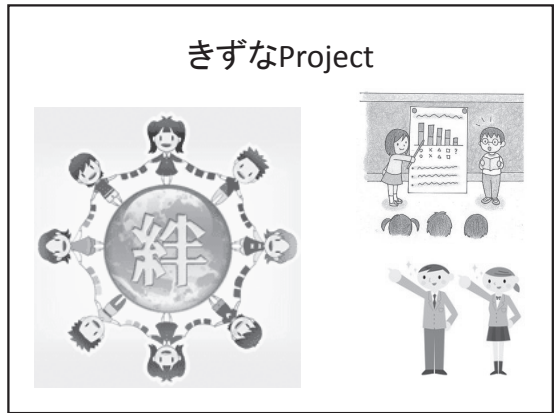
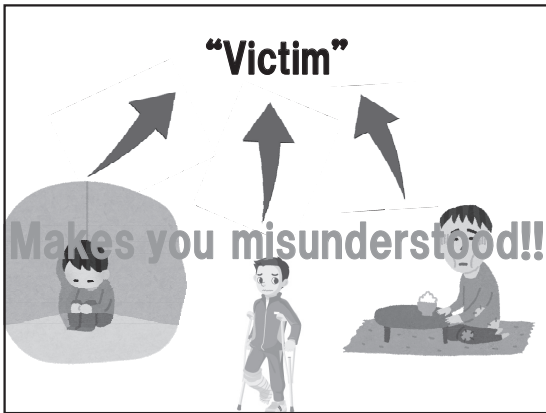
Table: ratio of refugees

1 避難世帯の家族構成

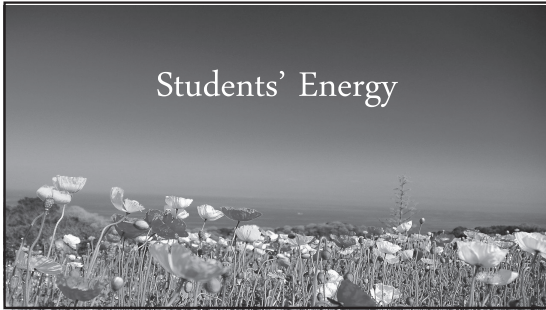


Difference

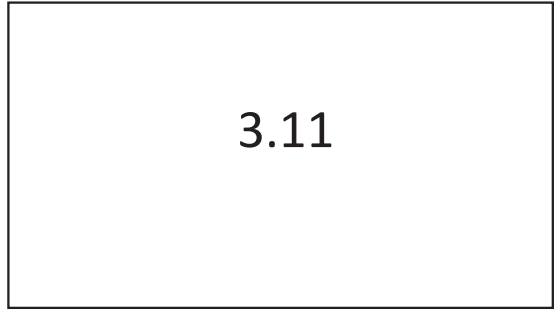




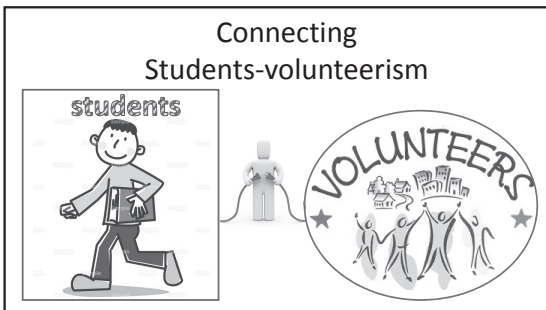
Thank you for listening!!



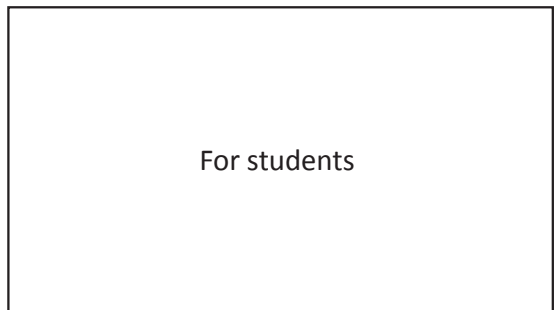
Students' Energy



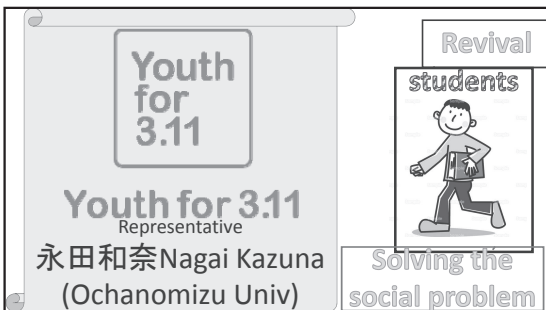
3.11



Connecting
Students-volunteerism



For students



Youth
for
3.11

Youth for 3.11
Representative
永田和奈 Nagai Kazuna
(Ochanomizu Univ)

Revival
students



Solving the
social problem



Visiting the
temporary housing

The fishing industry

By students

UT-Aid

—東大-東北復興エイド—



『東北食農支援プロジェクト』

Food & Agriculture
「JoynTohoku」



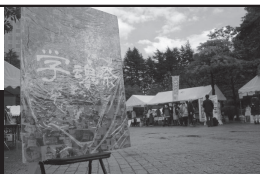
『気仙沼南町商店街派遣』

The shopping district

第一回
学魂祭
Gakkon Fes

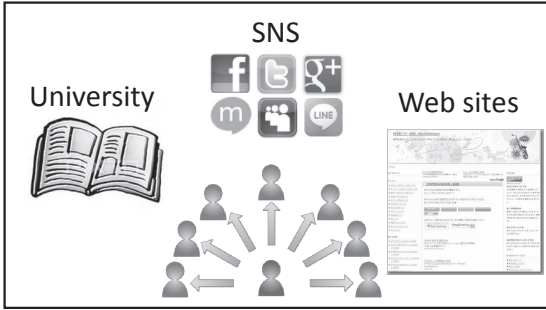


Theme song
「はじまりの一步」
The first step



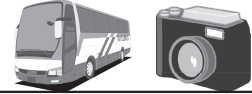
What to be more





Let's join the other volunteer activities.

- Volunteer tour
- Shopping
- Preserving the photos



3.11復興支援情報サイト
助けあいジャパン
3.11 Reconstruction Aid Information Portal
Tasukeai Japan
http://tasukeaijapan.jp/?page_id=3813

UT-Aid
—福大・東北復興工科大学—
<http://utaid.yu-yake.com/>

Tregion
Tregion R.A.L.
<http://www.tregion-port.com/>
<http://akasaka.keizai.biz/headline/1592/>

Youth for 3.11
<http://youthfor311.com/program2/>

第一回 学魂祭
おきなごころ 学祭
<http://gakkonfes.p-oh.me/>

Yahoo! JAPAN
東日本大震災写真保存プロジェクト
<http://archive.shinsei.yahoo.co.jp/>

<http://www.sipr-uoi.or.jp/nizu.org/tsubasa/>

http://www.ocha.ac.jp/news/higashinon_eq.html
<http://www.ocha.ac.jp/news/h260224.html>

銀河プラザ
<http://www.wate-ginpla.net/index.html>



To connected with local people

Festival power and reconstruction

Outline

- 1, introduce Souma
- 2, continue festival
(Soum Nomaoi & Kaze To Rock)
- 3, worry about Nuclear accident
- 4, connect with people

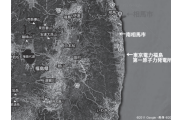
Fukushima



After 3.11 in Souma

Hit great big Tsunami

The government prohibited people from entering
in Some parts of Souma city and Minami Souma city.



What about 野馬追(Souma Nomaoi)?

- Traditional festival
- It has been continued since about 1000 years
- The origin is military training with horse by Bushi.
- The parade and competition are appeared many people.



Citizen of Souma lost many things

- . Some citizen lost their houses or furniture by Tsunami
- . Horses and festival tools lost
- . Some Jockey died.
- . There were a registration states in some of city.



We could not do Nomaoui?

2011, Nomaoui did

We were so inspired and Smile come back in Local people

But it was scaled down



風とロック(Kaze To Rock)

2009 Music Festival were held in Fukushima
Michihiko Yanai is a entertainment creator from Fukushima,
He produce this festival.

2011 He decided holding it.
But He wanted to go around Fukushima
prefecture
The tour started in Souma city.



↑ Michihiko Yanai

Feelings of organizer



Organizers worry

We had the worry
→new nuclear
power plant
accident.

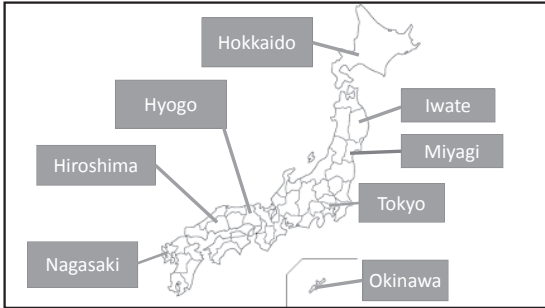
- 一、各会場の放射線量を当ホームページにて会期中まで継続して公表します。
- 一、新たな原発事故等によって、会場の放射線量が上昇した場合は、直ちに会場の変更やイベントの中止をします。
- 一、会場敷地内に、線量を下げるためのテントを設置いたします。

風とロックスーパー野馬追のポリシー(一部抜粋)

Next Kaze To Rock

They started traveling in 2012

convey Fukushima,
say thanks for help
meet people from Fukushima



Festival for disaster area

- It is a chance that people think their local
- They are reversed from State of tension, when they think or prepare Festival



March 2016

What we can do for local recovery from 3.11

-with the power of elderly people and children-

Ochanomizu University Aiko Oguchi

1

Great East Japan Earthquake in 2011



2

(1) Many elderly people die alone

(2) PTSD of children

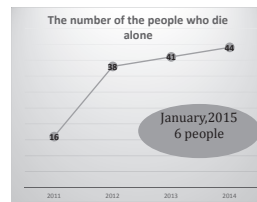


Solve them and Cheer up the people !

PTSD : Post-Traumatic Stress Disorder

3

(1) Many elderly people die alone



60% of them is over 65

(<http://www.yomiuri.co.jp/feature/TO000305/20150301-OYT150026.html>)

4

(2) The children with PTSD



March, 2013
One fifth of the children

(<http://benesse.jp/kyouiku/201309/20130918-5.html>)

5

What can university students do ?

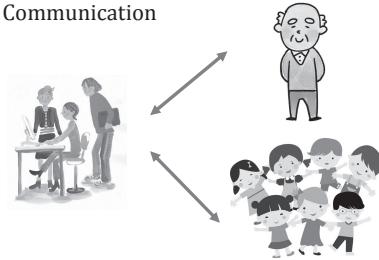
6

Good features of university students

- (1) Have much time to work on
- (2) Middle generation
- (3) High motivation

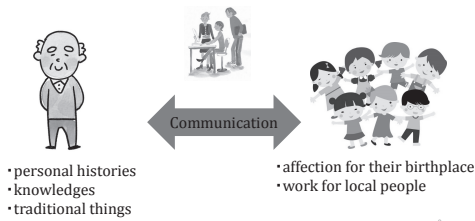
7

(1) Communication



8

(2) Communicative bridge



9



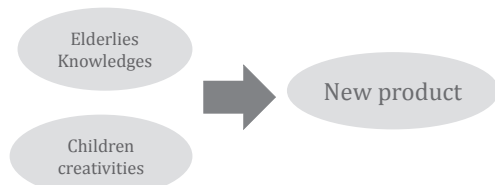
- be proud of their lives
 - feel less lonely
 - get a new community
- ↓
- prevent from living and dying alone



- learn about their birthplace
 - have an affection for their birthplace
- ↓
- cure PTSD

10

(3) create new products



11

For example...

In Iwate

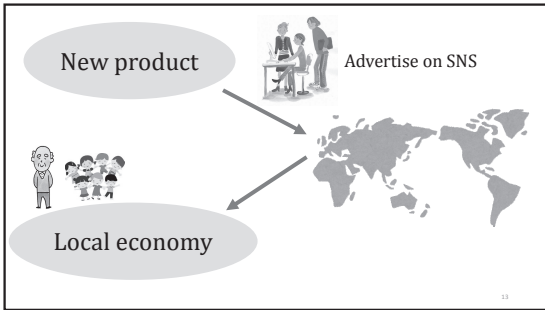


→ some kind of sweets



→ teacups and pot stands with it

12



summary

- (1) Approach to elderly people and children
 - (2) Provide a communication place with them
 - (3) Help them create product
 - (4) the disaster area gets profits
 - (5) Cheer up local economy and local people
- The number '34' is located in the bottom right corner of the summary box.

Thank you for your
attentions !

The number '35' is located in the bottom right corner of the thank you box.